

**平成 30 年度  
第 1 回  
関市総合計画審議会  
会 議 録**

(平成 31 年 3 月 18 日)



# 第2回関市総合計画審議会

## 1 日 時

平成29年11月10日（金曜日） 13時30分～15時20分

## 2 場 所

関市役所 6階 6-6会議室

## 3 出席者

委員（16名）

（敬称略、順不同）

区 分	氏 名	選 出 団 体 名
1号委員	杉山 徳成	関市農業委員会
2号委員	岩井 憲司	関市自治会連合会
〃	澤井 基光	関市社会福祉協議会
〃	塚原 佳人	関市消防団
〃	石丸 継治	関市老人クラブ連合会
〃	栗倉 元臣	関商工会議所
〃	鈴木 良春	岐阜県関刃物産業連合会
〃	加藤 正文実	関青年会議所
〃	武藤 記子	ほらど未来まちづくり委員会
〃	長屋 久直	板取ふれあいのまちづくり委員会
〃	古田 明	武芸川まちづくり委員会
〃	小森 恵子	社会福祉協議会上之保支部
3号委員	◎ 田村 弘司	中部学院大学
〃	山岡 一清	岐阜医療科学大学
4号委員	高井 澄恵	公募
〃	波多野 文香	公募

◎：会長、○副会長

事務局（関市 6名）

企画部長 桜田 公明 企画政策課長 森川 哲也

企画政策課 長屋 高浩 深川 理代 中山 佳織

#### 4 欠席者

委員（4名）

（敬称略、順不同）

区 分	氏 名	選 出 団 体 名
1号委員	田中 彰	関市教育委員会
2号委員	杉山 道夫	関市青少年健全育成協議会
〃	○ 安田 美紀子	関市地域女性の会連合会
〃	馬淵 美智子	NPO 法人 日本平成村

#### 5 次 第

- 1 開会
- 2 関市総合計画審議会委員の委嘱について
- 3 会長あいさつ
- 4 報告事項
  - (1) 基本構想議決の報告について
- 5 議題
  - (1) 第5次総合計画基本計画について
- 6 閉会あいさつ

午後 1 時 30 分 開会

## 1 開会

< 関市民憲章の唱和 >

< 事務局より、総合計画審議会の設置条例第 6 条第 2 項の規定により審議会の成立の報告 >

## 2 関市総合計画審議会委員の委嘱

## 3 会長あいさつ

(会長)

天候も不順で、秋が来ないうちに冬になりそうだ。関市総合計画審議会の基本構想について 5 月 15 日に私と安田副会長の 2 人で市長に答申した。その間、委員の皆様には活発なご意見をいただき、感謝する。その後、パブリックコメントや庁内の協議、議会で基本構想が通り、ここで基本計画という次のステップに移った。任期は 3 月末までで、引き続き活発なご意見を願う。

以前、BS 日本テレビの「三宅裕司のふるさと探訪」という番組で関市が紹介されていた。鶉飼、辻屋、善光寺、モネの池が紹介されていた。全国版の番組で関市が紹介されることはありがたい事であり、大変嬉しく思った。外から多くの方が関市を訪れることは、地元の者のふるさと再認識という意味でも非常にいい事だと思っている。

それでは、議事に入る前に、議事録署名者の指名を行いたい。

< 議事録署名に杉山徳成委員、岩井憲司委員を指名 >

## 4 報告事項

(1) 基本構想議決の報告について

(会長)

それでは「報告事項 (1) 基本構想議決の報告について」を事務局から説明いただく。

< 事務局より、報告事項 (1) について資料①に基づき説明 >

(会長)

今の説明についてご意見あるか。では、あれば後ほどまたご意見願う。

## 5 議題

### (1) 第5次総合計画基本計画について

(会長)

それでは「議題(1)第5次総合計画基本計画について」に入る。基本計画は大変なボリュームなので、初めに策定スケジュールや現計画との相違点について事務局から説明願う。基本計画は、政策を2つずつくらいに区切って協議したい。

それでは初めに策定スケジュールと第4次総合計画と第5次総合計画の相違点について事務局から説明していただく。

<事務局より、議題(1)について「今後の策定スケジュール」、「第4次総合計画と第5次総合計画の比較」を説明>

(会長)

今のご説明について、ご意見、ご質問はあるか。

無いようなので、基本計画について、協議していきたい。

初めに健康福祉分野の政策である「地域全体で「人」を支える」と、教育分野の政策である「明日を担う「人」を育てる」について説明願う。

<事務局より、議題(1)について資料③の政策1、2に基づき説明>

(会長)

2つの分野について説明いただいた。盛りだくさんであり、理解するだけでも大変だったと思うが、ご意見等あればお願いしたい。

確認だが、各分野で成果指標がある。満足度、アンケート調査が空白になっているが、これはどのように入るのか。

(事務局)

市民を対象に、施策の満足度と、今後どのようにしていけばよいかをたずねるアンケート調査を実施予定である。新しい施策で組み立て直したアンケート調査を11月から開催し、12月終わり頃までに原案がまとまってきた時点で、数字を入れていく。来年3月の報告になる可能性はあるが、その時に説明させていただきたい。

(会長)

来年3月には数字ができているとの事だ。

次の説明もしてもらい、後から戻ってもいいので質問をお願いします。

続いて地域づくりの政策である「まち」を共に創る」と、産業や経済の政策である「まち」に活力を生む」に関して説明をお願いします。

<事務局より、議題（1）について資料③の政策3、4に基づき説明>

(会長)

説明についてご質問、ご意見はあるか。

地域づくりの政策、産業、経済の政策という事だった。

次を説明願う。

防災や生活環境の政策である「安心な「暮らし」を守る」と、都市基盤整備や上下水道の政策である「快適な「暮らし」を造る」について説明願う。

<事務局より、議題（1）について資料③の政策5、6に基づき説明>

(会長)

皆様からのご意見を願いたい。最後に行財政の政策である「持続可能な行財政運営を行う」の説明があるが、簡潔に願いたい。

<事務局より、議題（1）について資料③政策7に基づき説明>

(会長)

きわめてボリュームが多い資料だが、ポイントを押さえた説明で理解が深まる場合があるので、簡潔に説明いただいた。皆様に全体を通してそれぞれの立場からご意見、ご感想、ご提言を願う。

(委員)

32番の公共交通の施策に関連する質問、意見だ。11月8日の岐阜新聞『活かせ！中濃の資源』というシリーズの中で、地方創生を念頭に置き、交通機関のインフラ整備として長良川鉄道とJR高山線結ぶ新線構想という記事が掲載された。栗倉委員が商工会議所の事業として構想をまとめ、中濃地域の自治体や議会、金融機関、大学、企業等に主旨説明や働きかけを行っているという記事だった。これが実現すれば名古屋へのアクセスも向上し、観光も含めて流入人口の増加や経済効果も大きくなるので、賛同している。公共交通の施策の取組にこれを取り入れ、今後の進捗状況で、ローリングして見直しをされるといいと思う。

(会長)

32番の公共交通の部分について要望や提言をいただいた。今後の協議の中で検討願う。他はいかがか。

(委員)

この計画の中で、34年度の目標値はあるが、平成33年度の指標ではないのか。

(事務局)

中間目標については基本計画の前期である5年間で設定しており、現状値は最新の数値を拾い直し、現在把握できる数値を掲載している。中間目標については検討する。33年度にするかもしれない。

(委員)

満足度を計る指標としてアンケートの結果で出される項目が多いと思う。確かに市民アンケートによる満足度で計った方がいいと思うが、必ずしも満足度で計れないような項目もあるだろう。例えばサービスが多いほど市民の満足度が上がると思うが、果たしてそれが見合っているかという事もあり、できれば具体的な指標があるといい。子育て支援では満足度を違う形で見ると出生数の割合等になるのかと考える。また、女性の参画も、女性が地域で働いて活躍している割合等で満足度を計る方法を考慮いただきたい。

(会長)

具体的なご提案があった。もっともだと思う。

(事務局)

政策は部長が責任を持つこととなっており、類似団体との比較ができる指標や社会指標を各部長が管理している。例えば出生率も大きな社会指標になるが、それを各政策で管理をしていこうとしている。また、女性の活躍で、審議会委員への女性の登用率が本当に適切かどうかについても、各施策において指標が適当であるか再度見直す。

(会長)

ぜひお願いしたい。

(委員)

「まち」を共に創る」についてだが、板取は現在19の自治会がある。その中で実際に役を務めていける方が2、3人という自治会が多数ある。自治会の役員は部長、自治会長、副自治会長等、様々な役があり、市にも届けて活動している。小さな集落では大きな負担になり、1人で3、4つの役を務め、2年に1回、3年に1回と、役

から外れる年がない状況が続き、疲れもみられる。自治会の再編は難しいだろうが、活動面での効率化を工夫できないか。

(会長)

考慮に入れて検討願う。他はいかがか。

(委員)

先ほどの自治会の件だが、私が住んでいる所は町内が18軒で自治会長が3回目だ。昔とは違い、多数の広報などが来る。広報を配るだけならいいが、中学校や福祉等様々な所から来る。広報は来てから3日くらいで渡すが、その後に他の配布物が来る。班長も回すのが大変だ。それを回収してまた行政へ提出しなければならない。自治会脱退者が非常に多いと聞いている。面倒だからいやだという高齢者の意見が非常に増えているようだ。とにかく自治会を辞めたいという意見もある。自治会は大切だからぜひいろいろなニュースを教えて欲しいという意見だが、インターネットやスマホ等で連絡を取り、情報を流し、自治会活動の寄り合いは一切なくしたいという意見もある。私の町内では年に2回程、自治会で寄り合いがある。しかし、それが若い人は嫌だと言う。要するにそういった事が負担になっている。インターネットやテレビでも、dボタンを押せばニュースが出てくるようになった。行政も広報は紙ベースではなく、テレビのdボタンを押すと地区の催し物や行政の考え方、防災活動について全て分かるようにすれば経費も抑えられる。メディアを通じて行えば自治会に関係なく情報が全て得られる。行政でも考えていただけると良い。広報や新聞も、流して見てすぐ捨ててしまう。情報は大切だが、紙ベースから変えることも考えていただきたい。

(会長)

学校関係でもメール一斉送信だ。印刷物が全て無くなる事には疑問を感じるが、これからの情報化社会で行政も工夫する事が大事だろう。他はいかがか。

(委員)

感想だが、第5次総合計画の分かりやすい説明で、今まで行ってきたこととこれからの問題点が盛り込まれており、勉強させていただいた。観光などについてだが、若い人を中心に刃物まつりであずきバーの日本刀が展示される事が話題になり、それを遠方から見に来たという人もいた。一方で、関市にどのようにいけばいいかという疑問の投稿も多くあったようだ。岐阜駅からだと岐阜バスも費用面や本数が少ないという問題がある。また、関市の刃物祭のついでにモネの池に行きたいが、交通が無いのでレンタカーにしたほうがいいかという意見もあり、交通の便が良くなると観光客も増えるのではないかと考える。関市はテレビの番組で特集されることも増えるなど注目されている。交通の便が良くなれば来られる方も増えるのではないか。

もう1点、地域医療への取組の方向性についてだ。私は大学を卒業して医療関係で

働いているが、学生たちの中でも地域医療に興味を持つ学生が多かった。私自身も地域医療に関わりたいと学生時代も様々な勉強をし、研修などにも多数行かせていただいた。そのなかで、揖斐にある久瀬診療所は、将来医師や看護師になる人が気軽に遊びに行けるようなオープンな診療所であり、学生向けに地域医療について考える研修や、診療所で働く医師との交流、宿泊研修などもあった。そういう学生を取り込んだ、へき地の医療を考えるような機会があれば、さらに興味を持つ人が増えたり、村の診療所等で働きたいと思う人が増えたりするのではないかな。

(会長)

具体的な提案までいただき、感謝する。

(委員)

上手くまとまっていると思う。ポイントとして押さえる所に☆印があるが、どの施策も今まで通り変わらず全部並べてある印象だ。全部必要だが、5次計画では「これを主体的に行う」と明確に表現されると良いだろう。4次計画でもそうだったが、並べ替えただけで変わっていない。各課で何を取り組むかを表面に出した方がいい。

もう1点、先ほどの自治会の話だ。私も社会福祉協議会や民協など、いろいろ活動しているが、担い手がおらず、コミュニティがどうなるか分からないところがある。自治会をやめてしまうとコミュニティがなくなってしまうのではないかなと思う。単に簡単にしたり、省くのではなく、何かをしようという事で繋がっていかないと、ただの個人になってしまい、お互いの結びつきが無くなってしまおうと思う。自治会で自治会長が行う事を少なくして、その場合にコミュニティや互助など、いろんな形でできる環境が無いかなと思う。私も自治会長など多くの役での繋がりでいっぱいだが、そうではなく、ボランティアとして志で繋がらないといけないという思いがある。そういう思いが繋がる何かがあるといいと思う。

(会長)

全く同感だ。自治会が成り立たない事は特に大都市で多く、子ども会なども成立しない。自治会に入らない人も増えてきた。どうなっていくか心配だが、まだ関市はいい方だと思う。その辺も考えていただきたい。

書いたのはいいが、予算もあるのでアクセントをつけてというのは非常に貴重なご意見だ。

(委員)

関商工高等学校に農業科を作れないか。林業と農業について記載があるが、担い手がない。関市から専門学校、農林学校等の特別な学校に行っている方がどれくらいいるかも調査しながら、高校から勉強してもらおう事ができるか伺いたい。

(事務局)

1点目、現在どれくらいの高校生が行っているのか把握できていない。2点目、農業の施策として、来年度から新規に関市に移住し農業を担う方にある程度の所得補償を考えている。若者の新規農業支援を行う事がおそらく来年度予算の目玉事業で出てくると考える。それら2点について次回報告する。

(委員)

これが基本計画なので、この後実施計画というのが、この取り組みの主な内容になるのか。

(事務局)

これに財源と、いつ行うかがこの下の実施計画という事だ。

(委員)

「連携する」という言葉が所々にある。自分自身が民生委員をした事があり、子育てや高齢者、学校の教育等、民生委員は様々な所で関わっており、その方たちに聞くと本当に地域の事が良く分かる。特定の団体との連携と、これからの事務事業として代表の団体と関わって密に動いていただけるといい。

(会長)

まだまだご意見を伺いたいが、協議については一旦終了する。報告事項があるので、事務局からお願いします。「総合計画審議会提案事項に対する報告について」があるので、事務局より説明をお願いします。

<事務局より、提案事項の報告>

(会長)

ここでの提案に対する回答なので目を通していただきたい。それでは、今日の協議を終了する。事務局にお返しする。

## 6 閉会あいさつ

(事務局)

ありがとうございました。まだ第1校だが、皆様のご意見を伺いながら、課題と課題に対する図表やグラフ、指標がロジックに繋がっていないという事が私の感想だ。まだまだ、見直しをしなければいけないと感じている。ご意見があれば電話やファックス等何でもいいので、伝えて欲しい。

企画部長より挨拶申し上げる。

(企画部長)

本日は長時間にわたり審議いただきありがとうございます。関市の全ての事業を説明するために説明の時間が長くなってしまったと感じている。澤井委員からも既存事業をそのまま受け取れるという事で、第5次総合計画の特徴や重要事項が分かるような計画、説明ができるといいと感じている。

市長は基本構想から真摯に説明してきたが、基本構想には第5次総合計画で特に産業、教育、文化に力を入れていきたいと言っている。それらの施策についてもう少し分かるような表現があってもいいし、それを進める上で第5次総合計画での「協働」という言葉、「協働を進める」という視点も特徴になる。それが市民にも分かるような計画にすべきと感じている。

また、自治会の話についても、今日の意見は担当課に伝える。第5次総合計画では人口減少が進む中で、地域委員会という組織を第5次総合計画の中に上手く謳うことも大事だと考えている。この内容をさらに修正し、12月の議会、その前の全員協議会で説明をし、計画について意見をもらうつもりだ。12月に皆様にご意見をいただきたい。今日の説明では意見をいただくまでに至らなかったなので、次回修正して意見がいただけるような審議会になるよう進める。今後ともご意見をお願いします。本日はありがとうございました。

午後3時20分 開会